

平成26年度から開講される新しい科目「海外研究 A, B, C, D」について

平成26年度から、地理学科の新しい科目として「海外研究 A, B, C, D」が開講されます。これは皆さんが自主的に参加した海外研修（教育機関での語学研修以外に、スタディーツアーなど体験型学習、ボランティアやインターンシップ、ワーキングホリデーの経験等を含む）の成果を発展させる科目です。

授業では、研修で学んだ海外地域の文化や環境に関するレポートを作成して、そのレポートで成績が評価されます。レポートの内容は、教育機関での学習内容と成果を基にしたアカデミックレコード型、地域調査報告に準拠したリサーチペーパー型、経験を通じて得た能力や視野の成長を強調したセルフアセスメントエッセイ型など、様々なタイプが認められます。

どのような研修ならこの科目の対象になるか、研修プログラムの内容について具体的な指定はありませんが、通常の観光旅行は対象になりませんし、交換留学と認定校留学も対象外です。判断に迷う場合があると思いますので、研修を予定している段階で必ず担当者に相談して指導を受けて下さい。

履修登録は研修から帰国後1年以内に行わなければなりません。2年生以上が履修できる、半期の専門選択科目（2単位）として、前期と後期に開講されます。A, B, C, Dの記号が付いており、2年ごとに繰り返しますので、最大4回まで履修することができます。

【授業の目標】

海外研修で得られた成果を調査研究に活かせるように、知識・技術を発展させて、地理学的視野の拡大につなげる。

【授業の概要】

自主的に参加した海外での研修の成果に基づき、演習形式による授業で、報告会の発表およびレポート作成を行う。

【授業スケジュール】

授業開始後、前期は5月上旬頃、後期は10月上旬頃に実施する公開の研修報告会での発表準備を行う。報告会の後は、レポート作成の作業を行って、7月中旬および1月中旬までに提出する。

【準備学習】

履修希望者は、効果的な海外研修が受けられるよう、研修に参加する前に、研修内容について担当者と相談しておくこと。研修報告会に出席して情報を収集することも望ましい。海外地域を研究するための資料研究を行う授業が「地理学特講 H」として後期に開講されるので、次年度の研修の事前学習の機会にするなど、計画的に履修してほしい。

FAQ（よくある質問）

Q. 「計画的な履修」が勧められていますが、どのような計画を立てればよいでしょうか？

A. 例として次のようなモデルをあげますので、計画を立てる時の参考にしてください。

2年次前期：「地域調査入門」で、地理学における地域調査について学ぶ。

2年次後期：「地理学特講 H」で、研修に行く海外地域について学ぶ。

3年次進級前の春休みに海外研修に参加し、3年次前期または後期の「海外研究」を履修する。

（あるいは、3年次の1年間、海外研修に参加し、翌年度の「海外研究」を履修する。）

Q. 履修登録できるのは、研修を終えて帰国した後だけですか？ 前期や夏休み中に海外研修した場合、後期に履修登録できますか？

A. 履修登録できるのは帰国後になります。前期に参加する研修を対象にして前期に履修登録することや、後期の研修を対象に後期に履修登録することはできません。前期や夏休みに研修に行く場合には、後期の「海外研究」を追加で履修登録することができます。ただし後期の追加登録は年間履修制限単位数の範囲内でのみ可能（前期に落とした単位数は補充できない）なので、前期に予め2単位分を見込んでおく必要があります。翌年度前期の「海外研究」を履修することもできます。

Q. 研修に出発する前に指導を受けなかった場合でも、帰国後に履修登録できますか？

A. 出発前の指導は授業時間を設定して行うわけではありませんので、適宜、時間を調整して科目担当者と相談してください。授業で作成するレポートのポイントについての指導などを行います。渡航中の安全管理についても助言しますので、必ず事前に相談してください。

Q. 履修について分からないことがあるのですが、誰に相談すればよいですか？

A. 学科主任または科目担当者（平成26年度は佐藤，江口）に連絡して下さい。